

平成 27 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計		款	項	目	事業コード	事業名		
一般		04	01	07	0401	環境学習推進事業		
総合計画	分野	暮らし						
	政策	2-1	環境の保全					
	施策	2	自然環境の保全					
目的		環境に対する意識啓発						
対象		環境について学ぶ市民、市内小学生						
意図		自然環境を守ることや環境に対するの市民の意識の高揚を図る						
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること								
○環境マイスター派遣 ・環境マイスター派遣 14回 参加人数467人 ○水生生物調査事業 ・水生生物調査 7回 6団体 8箇所 参加人数243人 ○環境教育の実施 ・環境学習チャレンジブックの配布 小学校1校 104部 ○自然生物保護事業 ・ゼニタナゴ保護活動の支援								
市民参画の有無 [対象外]								
市民協働の形態		共催		実行委員会・協議会		事業協力・協定		
		後援・協賛		補助・助成		委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）				単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
①	環境マイスター制度	回	計画		33	33		
			実績		18	14		
②	環境学習チャレンジブック	部	計画		500	500		
			実績		396	104		
③			計画					
			実績					
成果指標（上記「意図」に対応）				単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
①	環境マイスターを派遣した研修会等に参加した市民	人	目標		1,000	1,000		
			実績		547	467		
②	自然環境を守る行動を行った市民の割合	%	目標		63.0	65.0		
			実績		59.9	62.3		
③			目標					
			実績					
成果指標の達成度		目標値より高い		概ね目標値どおり		○		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
環境マイスター派遣制度による環境学習の参加者は減少したが、大きい視点で自然環境を守る行動を行った市民の割合は増加していることから、環境に対する市民の意思が高まってきていることが伺えるが、目標値には至らなかった。 なお、環境マイスター派遣制度による環境学習の参加者は、小学校数の減少や少子高齢化などの影響により、減少傾向にあるため、平成28年度において、新たな目標値を設定する。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	環境に配慮したまちづくりを行うことは総合計画や環境基本計画にも課題としてとらえられており、環境について学ぶ場の提供に関して市が関与していくことは妥当である。
	○ 妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	環境マイスターの派遣回数が伸び悩んでいることから、広報活動等を充実させることにより積極的な利用を働きかける余地がある。
	○ 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	職員は当該事業を実施するための最低限の事務を行っていることから、人件費の削減余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	受益と負担の適正化余地	環境マイスターの派遣制度は全市民・団体を対象としており、また、環境学習事業についても市内小学生を対象としていることから受益機会は均等であり公平・公正である。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価 …上記評価結果の総括		
環境についての学習する機会を提供し、より一層市民が環境を守ることや環境に対する意識の向上を図っていく。		

平成 27 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	04	01	07	0401	環境学習推進事業

単位：千円					
		26年度 決算額 (A)	27年度 決算額 (B)	28年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		135	165		30
財源内訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源	135	165		30

事業期間	○ 単年度繰返	期間限定	〔平成 年度 ～ 平成 年度〕
部重点施策における目標			
豊かな自然と生活環境を守り暮らしています			
事業開始の背景・経緯			
地域における環境保全活動の活性化を図るとともに、環境に対する意識の高揚を図るため事業を開始した。			
事業概要			
○環境マイスター派遣 ・環境マイスター派遣 14回 参加人数467人 ○水生生物調査事業 ・水生生物調査 7回 6団体 8箇所 参加人数243人 ○環境教育の実施 ・環境学習チャレンジブックの配布 小学校 1校 104部 ○自然生物保護事業 ・ゼニタナゴ保護活動の支援			
事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等			
・環境マイスターの派遣により身近な自然に対する意識が変化したという意見が寄せられている。 ・水生生物調査に参加した市民からは、「水質汚染など環境問題への関心を高める良い機会である」「環境を考えながら自然と親しむ貴重な体験になる」との意見が寄せられている。			

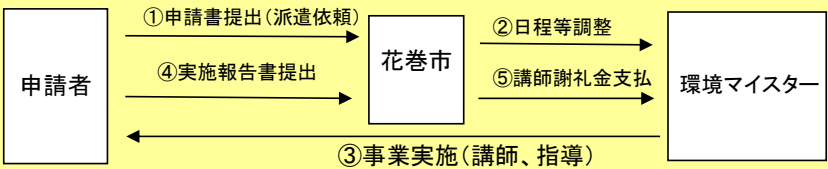
担当部署 部名 市民生活部 課名 生活環境課 担当係長 似内 泉 内線 255

(単位：千円)

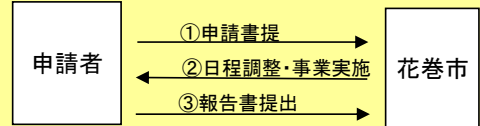
《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

環境学習推進事業

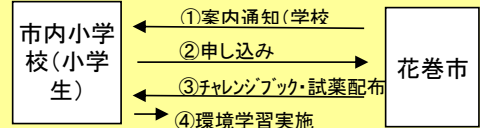
＜環境マイスター派遣事業＞



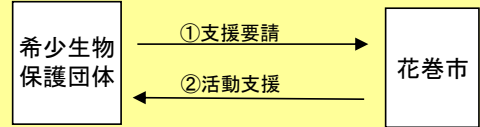
＜水生生物調査事業＞



＜環境教育推進事業＞



＜自然生物保護事業＞



【事業費内訳】

- ・環境マイスター派遣事業 56千円
環境学習会等実施の際の講師として環境マイスターを派遣
- ・水生生物調査事業 8千円
水生生物調査による河川等の水質調査及び環境学習の実施
- ・環境教育推進事業 67千円
自主的に環境学習を行う小学生に対し環境チャレンジブック及び試薬を配布し、自然環境全般への理解を深める取り組みを支援など
- ・自然生物保護事業 34千円
希少生物等の保護活動を行う団体等の活動を支援